カルロス・ゴーンが日本に残した問題

被疑者の人権を無視した取り調べの実態を糺す

「取り調べ時間が長すぎる」「取り調べに弁護人を立ち合わせない」「ひどい扱いを受けている」カルロス・ゴーンの突然の逮捕をきっかけにして、被疑者の無権利状態にフランスメディア等から度々クレームが付きました。このことがのちのゴーン逃亡劇につながったと思われます。日本の刑事司法制度は「人質司法」だとして、国連の自由権規約委員会や拷問禁止委員会から長年にわたり批判されてきました。「代用監獄」や長期勾留は自白の偏重を生み、えん罪の危険をはらんでいます。こうしたことから、国連だけではなく、内外の人権団体からも問題の改善が求められています。本年１０月、規約の履行状況や過去の勧告に対する実施の有無に関する日本政府報告が、自由権規約委員会で審査されます。日本政府はこれまでやり方を変えようとしていません。

今回の人権入門講座は刑事法を専門とする新倉修氏（青山学院大学名誉教授・弁護士）を再び講師としてお迎えし、日本政府報告の問題点を講演して頂きます。

皆様のご参加を心からお待ちしております。

国際人権入門講座　２０２０

第７回　**３月２７日（金）**　18:30～20:00

「人質司法とは何か？

～暴かれる日本の司法制度　近づく国連審査」

講師　新倉 修さん（青山学院大学名誉教授・弁護士）

会場　青山学院大学・総研ビル８階 第10会議室

第８回　7月１７日（金）18:30～20:00

「ILOハラスメント禁止条約について」（予定）

講師　検討中

会場　青山学院大学・総研ビル８階 第10会議室

第９回　11月１３日（金）18:30～20:00

「憲法の改悪を許さないために？」（予定）

講師　検討中

会場　青山学院大学・総研ビル８階 第10会議室

※今後、年３回講座を開いていきます。

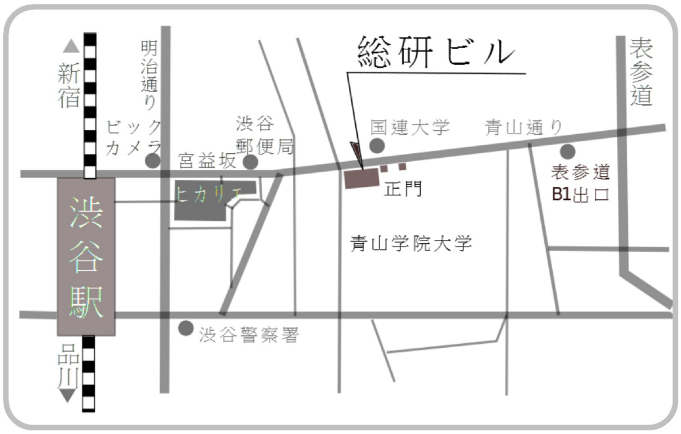
参加費

３回券　1200円　1回券500円

（３回通しでご受講頂けるとお得です）

会場

青山学院大学青山キャンパス内
総研ビル
東京都渋谷区渋谷4丁目4-25
東京メトロ　表参道駅　5分



国連経社理特別協議資格NGO　国際人権活動日本委員会
170-0005　東京都豊島区南大塚2-33-10　TEL:03-3943-2420　hmrights@yahoo.co.jp